

# 未来へ



おおさわ学園  
三鷹市立第七中学校  
第3学年 進路だより  
No.8 2018.5.31  
校長 勝野 能光  
進路指導主任 木村智佐子

## 私立高校の受験をよく知ろう

私立高校は学費が高い、校則が厳しいなどというイメージだけを持っている人がいるようです。しかし、私立高校は高校ごとにいろいろな特色があります。確かに入学金や授業料、設備費などは都立高校に比べて高額です。しかし、その分設備が整っていて充実した教育が受けられたり、大学受験に関する特別な授業があったりします。専門のコーチがついていて、関東大会、全国大会レベルの部活動も多くあります。都立高校には都立高校の良さがあり、私立高校には私立高校の良さがあるのです。そうは言っても私立高校に3年間通うのは、お金がかかります。しかし、最近さまざまな減免制度もあり、都立高校との経費の差が縮まってきています。前号の受験パターンを見ればわかるように、都立高校だけを受検するのは、勉強面についても精神面についても、相当な覚悟が必要です。今は都立高校しか考えていないという人も、視野を広げ、私立高校の受験についてももう一度検討してみましょう。

### (1) 推薦とは

前提は、七中校長の推薦が得られる人物であること。それをクリアしてからの話。

私立高校の推薦受験には大きく二種類ある。入試・発表は1月。

#### ①推薦

高校側の示す基準（5科で19、9科で32以上、3年の欠席日数が5日以内など）があれば、12月に行われる高校の先生と七中の先生との「入試相談」を経て、入試当日は面接・作文等でだけで特別大きな問題がなければ、合格できる。簡単な適性検査（国・数・英）などがある高校もある。特別大きな問題点とは、「面接でほとんど答えることができなかった。」「身なりや態度が真面目とは思えない。」「意欲が感じられない。」「適性検査でほとんど0点だった。」など。

#### ②推薦の資格が与えられる

高校側の示す基準（9科38以上など）があれば、推薦出願の資格が与えられる。適性検査と称するが、一般入試と変わらないような難易度の高い3科の試験と面接がある。合格点に達しないと合格できない。入試相談はない。

推薦不合格者が、一般で再受験をする場合には、優遇措置がある学校もある。

〔例：日大櫻丘高校、法政大学高校、明治大学明治高校 等〕

### (2) 併願優遇とは

高校側の示す基準をクリアし、入試相談を経ていると、2月の一般入試の際に優遇措置がある。その優遇の方法にも二種類ある。

#### ①ほぼ確実に合格できる優遇

基準があり、中学の先生の人物や行動面での保証があれば、入試の得点が低くても合格できる。この場合は、他の私立高校を受験しなくても大丈夫。

ただし、一教科でも0点があったり、あまりに内申点との差があるような得点であったりした場合は、不合格となる可能性も0ではない。得点が低すぎると、中学校に確認の電話があったり、「補欠合格」になったり、入学する際に課題を課されたりすることもある。もちろん、面接点があまりにひどい場合も同じ。

#### ②加点優遇

基準があれば、入試得点に30点～50点程度加点をくれる。その基準がある、つまりそのくらの学校の成績をとっている人は、その加点があれば合格できるだろうという判断。

例 3教科合計180点が合格点のA高校。BさんとCさんが併願優遇（30点加点）で受験。

Bさんの当日の入試得点は160点だった。それに30点加点なので、190点→合格

Cさんの当日の入試得点は140点だった。それに30点加点なので、170点→不合格ということになる。ただし、過去の例からすると、加点優遇で落ちる人は少数。でも、実際にいるから、油断はできない。「私立は併願優遇とったから何もしないでも大丈夫～」なんて思っていたら痛い目に遭う。第一志望の都立高校の受験勉強と並行して、受験する私立高校の過去問を研究して、得点が取れるような勉強をしないといけない。〔例：錦城高校、法政大学高校 等〕

不安であれば、入試の日が違えば、もう1校「私立併願可」の条件がある高校の併願優遇制度を利用することもできる。

#### (3) 優遇制度を使わない受験（フリー）

推薦も、併願優遇制度も使わないで私立高校を何校も受験する人もいるが、注意しなければならない点がある。

私立高校には、①推薦も併願優遇もない高校、②推薦のみで併願優遇はない高校、③推薦も併願優遇も実施している高校 がある。①②の場合は、フリーで受けても実力に見合っていれば合格の可能性はあるが、③の場合は要注意。「一般入試」とはいえ、ほとんどの受験生が併願優遇制度を利用していたら、相当な高得点を取らなければ合格の可能性が低いからだ。

たとえば、大成高校の一般入試、文理コースの募集人数が110名に対して、昨年度の応募人数は734名。ほとんどが併願優遇で合格がほぼ約束されている生徒。その中でフリーで受けて合格するには、相当な高得点が要求されると思われる。（合格パスポートP13）

さあ、高校説明会へどんどん参加して、こういう情報を入手してこよう！

♥行く価値のある場所には、近道などひとつもない。（アメリカの歌手・ビヴァリー・シルズ）

★進路だよりは必ずその日のうちに保護者に渡し、内容について話し合ったり情報を交換したりした後、家庭で保管してください。